

2023年院内がん登録集計

当院は、神奈川県がん診療連携指定病院として、指定を受けており、「院内がん登録」を実施しております。院内がん登録は、自施設で診断、治療を行ったがん情報を集計し、医療の質の向上とがん患者さんの支援を目指して実施しているものです。「2023年院内がん登録集計」は、2023年1月1日～2023年12月31日までにがんと診断された症例を対象に集計しました。

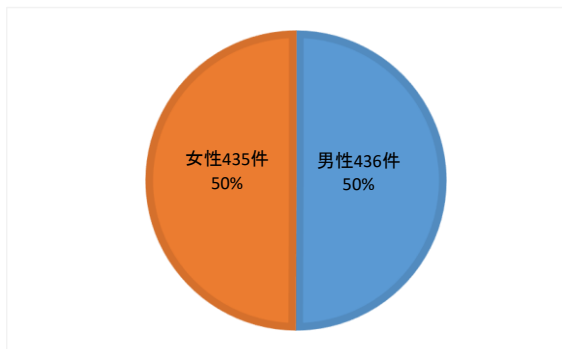
1. 登録数の年次推移(2017年～2023年)

当院は、2017年から院内がん登録を実施しております。

診断年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
登録件数	810	884	944	847	910	877	871

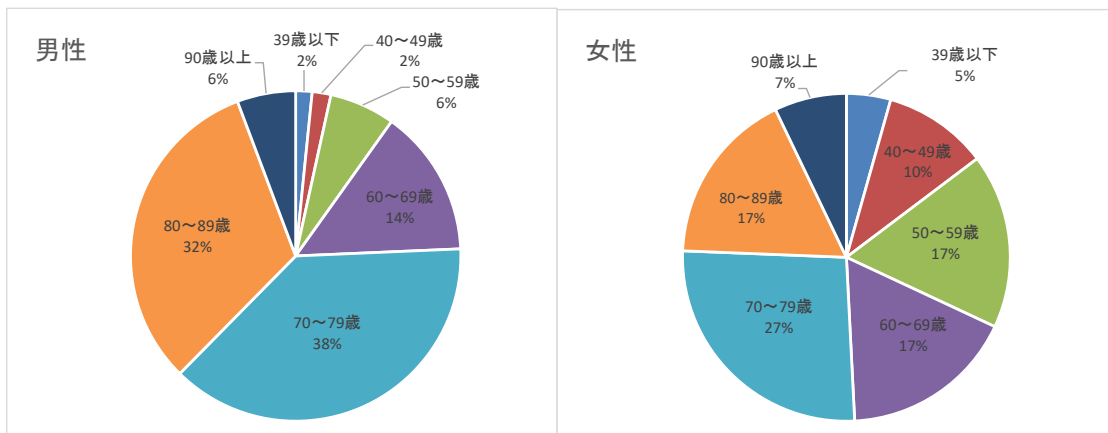
2. 2023年 性別登録数・割合

登録数は、871件で男性436件、女性435件でほぼ同数でした。



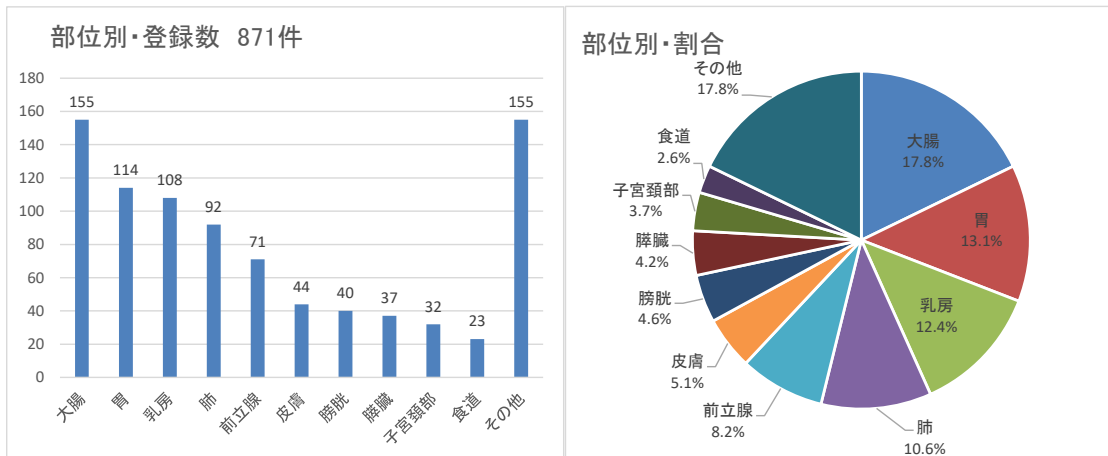
3. 2023年 年齢階級別性別・割合

男性女性ともに、70～79歳の割合が最も多くなりました。



4. 2023年 部位別登録数・割合

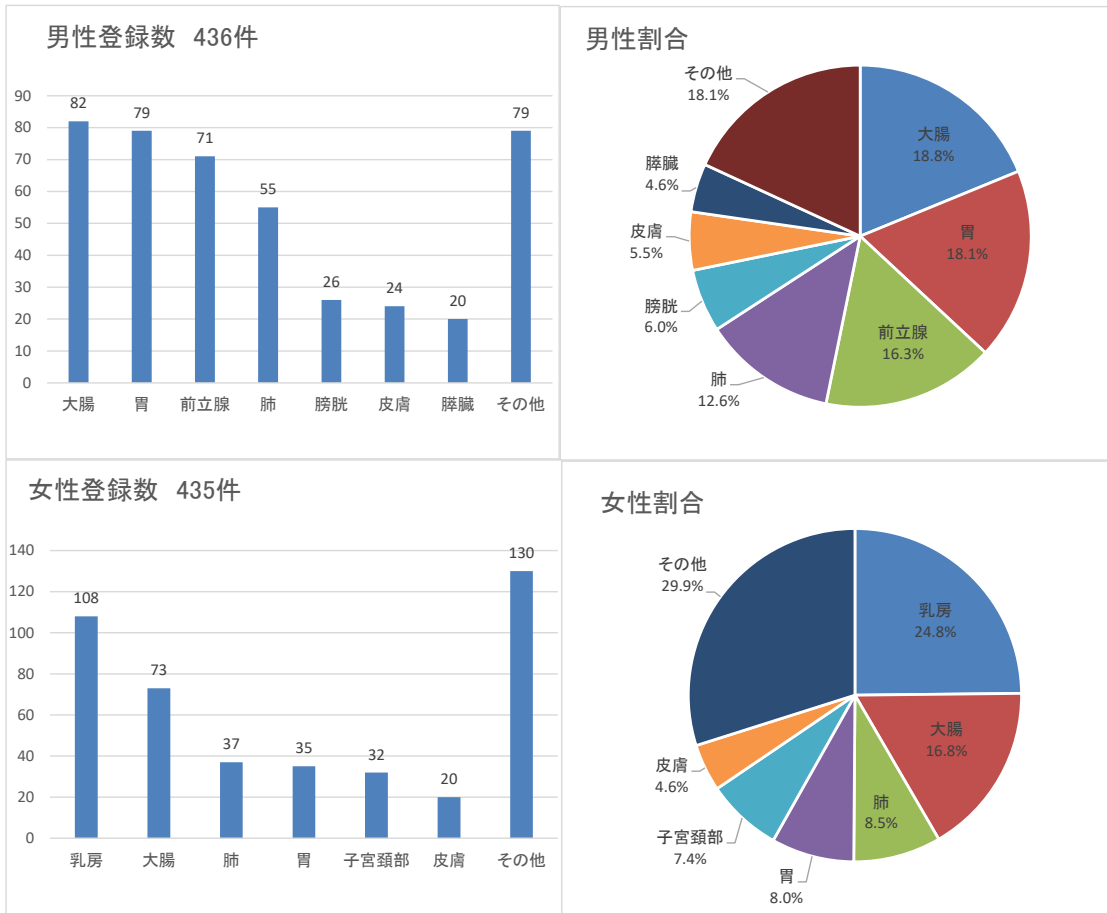
大腸155件(17.8%)、胃114件(13.1%)、乳房108件(12.4%)が多く、当院の患者の約4割を占めています。



登録数が20未満の場合、その他に含まれます。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合もあります。

5. 2023年 性別部位別登録数・割合

男性は、大腸82件が最も多く、次いで胃79件、前立腺71件の順になりました。
 女性は、乳房108件が最も多く、次いで大腸73件、肺37件の順になりました。



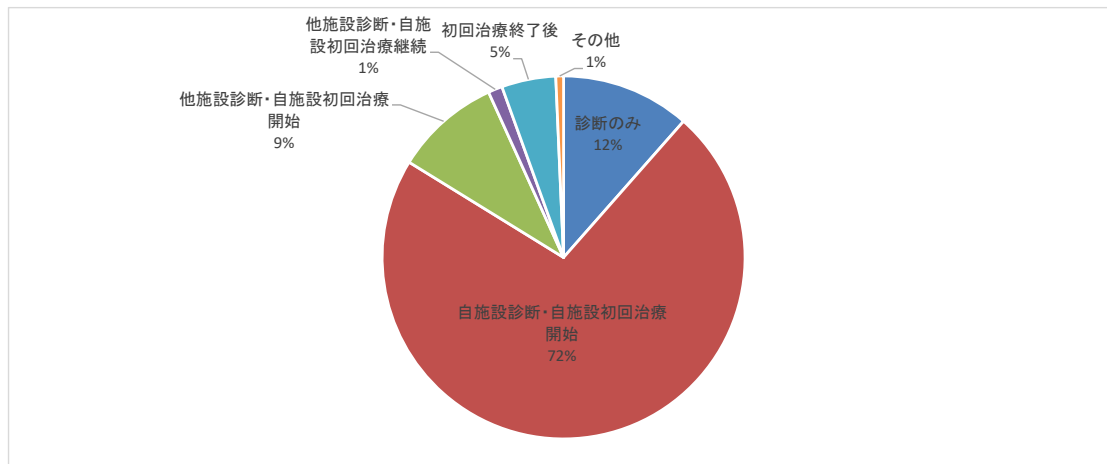
登録数が20未満の場合、その他に含みます。
 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合もあります。

6. 2023年 症例区分別割合

症例区分は、がんの診断および初回治療を、どの施設で開始、実施したかを判断する項目です。

診断のみ	自施設で診断後、他施設へ紹介した場合
自施設診断・自施設初回治療開始	自施設で診断し、自施設で初回治療を開始した場合
他施設診断・自施設初回治療開始	他施設で診断された後、自施設で初回治療を開始した場合
他施設診断・自施設初回治療継続	他施設で診断された後、他施設で初回治療を開始され、その後、自施設で初回治療を継続した場合
初回治療終了後	他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合
その他	上記のいずれにも分類できない場合

自施設診断・自施設初回治療開始が最も多く、次いで他施設診断・自施設初回治療開始となりました。
 当院で治療開始された方が約8割を占めています。



7. 2023年 5大がんの病期(ステージ)別、治療方法別

当院で初回治療を開始した患者さんを対象に集計をしています。

*5大がんは、胃・大腸・肝臓・肺・乳腺です。

病期(ステージ)別集計

病期は、大きく0～IV期に分類します。0期に近いほどがんが小さくとどまっている状態、IV期に近いほどがんが広がっている状態(進行がん)です。

TNM悪性腫瘍の分類(UICC)に基づき分類をしています。

集計方法は、総合病期(術後病理学的結果を加味した病期)です。

*0期がない部位もあります。

治療方法別集計

治療方法は診断から5ヶ月以内に実施された治療を集計しています。

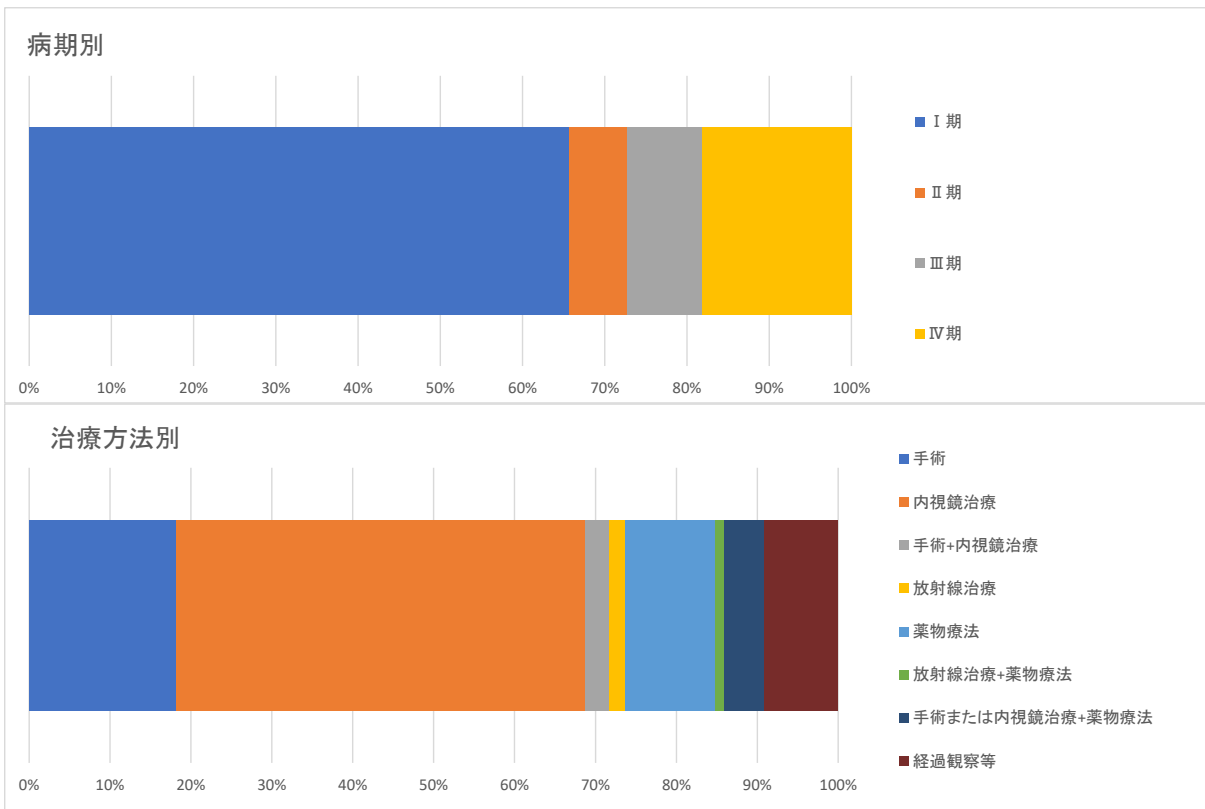
治療方法の分類は下記になります。

治療内容
手術
内視鏡治療
手術+内視鏡治療
放射線治療
薬物療法
放射線治療+薬物療法
手術または内視鏡治療+放射線療法
手術または内視鏡治療+薬物療法
手術または内視鏡治療+放射線療法+薬物療法
その他の組み合わせ
経過観察等

胃癌

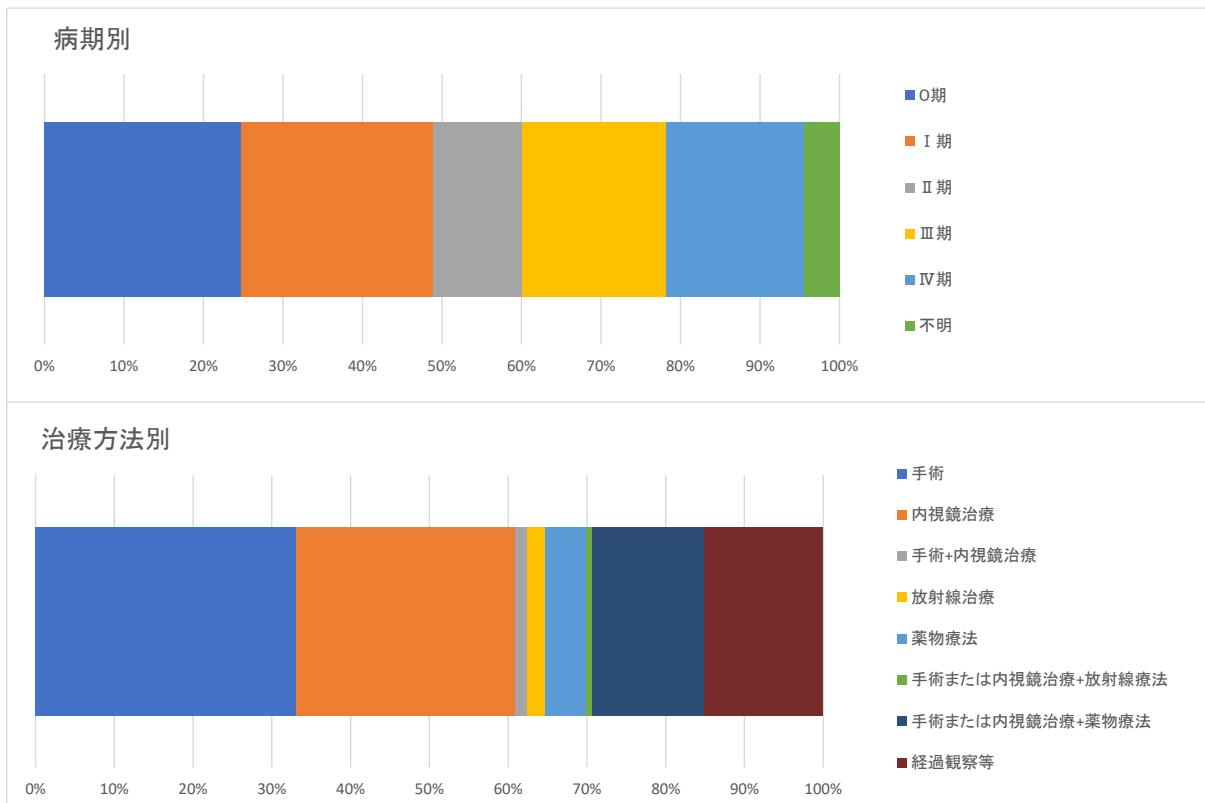
病期(ステージ)別は、I期が最も多くなりました。

治療方法別は、内視鏡治療が最も多くなりました。



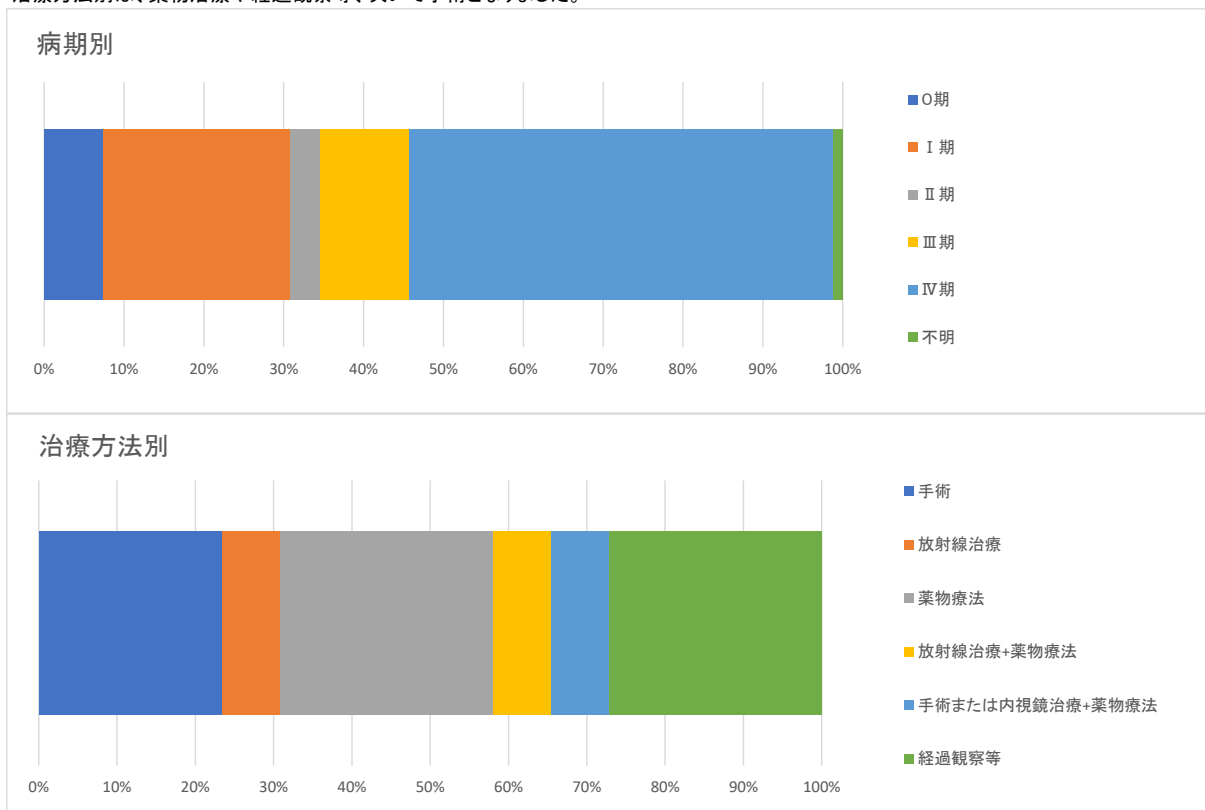
大腸癌

病期(ステージ)別は、0期、I期が多くなりました。
治療方法別は、手術、内視鏡治療が多くなりました。



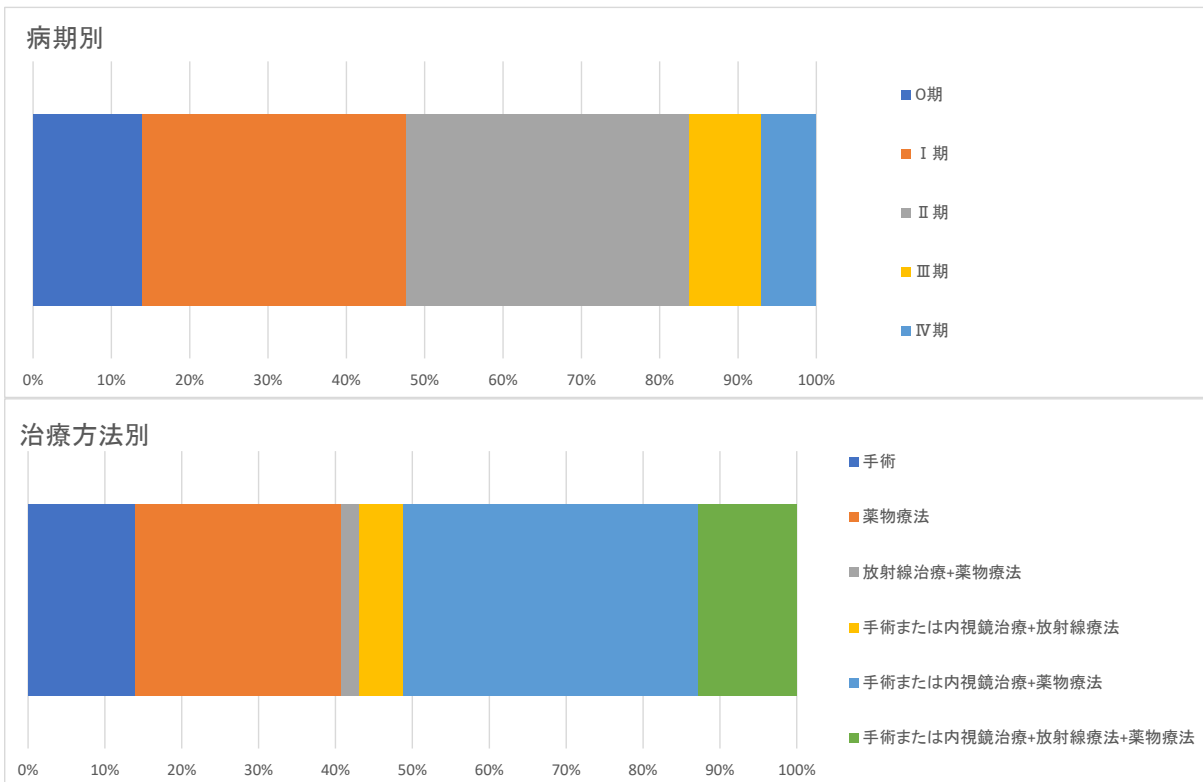
肺癌

病期(ステージ)別は、IV期が最も多く、次いでI期となりました。
治療方法別は、薬物治療や経過観察等、次いで手術となりました。



乳癌

病期(ステージ)別は、I期、II期が多くなりました。
治療方法別は、手術と薬物療法を組み合わせた治療が最も多くなりました。



登録数が10未満の肝臓は非表示になります。